

ウエルハーネスだより

181号

理事長からの言葉



上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹栴会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和3年6月25日発行

ようやく梅雨に入りました。季節の変化が早くなっているのかと思っていたら、意外にも梅雨入りは遅くなっていたのですね。今後、季節はどうなっていくのでしょうか？

さて、施設でもやっとコロナワクチンの接種が始まりました。ご入所の皆様、職員ともに7月の末までに接種を終える予定です。全員、無事にワクチン接種を終えられるといいのですが。副反応は高齢者よりも若い人たちが大変なようです。すでに2回目の接種を終えた医療関係者や同業者から話を聞くと、発熱等の副反応が出るのは2回目、しかも20台の職員が大変だと口をそろえて言います。中には2・3日仕事を休まざるを得なかった人もいます。そんな状況なので、当施設では可能な限り2回目の接種の翌日は休みになるようにシフトを組むことにしました。

ワクチンの接種スピードは加速度的に早まっています。ご存じのように、職域や大学での接種が始まりました。上尾市はどうなっているのかと思って、市のホームページを見ました。すると、下記のような接種券の配布予定です。

・基礎疾患のある人 (4,500人)	6月25日	接種券到着次第予約開始
・高齢者施設従事者 (2,000人)	6月25日	接種券到着次第予約開始
・60～64歳 (1.2万人)	6月25日	接種券到着次第予約開始
・55～59歳 (1.4万人)	7月7日	接種券到着次第予約開始
・50～54歳 (1.8万人)	7月10日	予約開始は個別通知
・40～49歳 (3.4万人)	7月15日	予約開始は個別通知
・30～39歳 (2.6万人)	7月20日	予約開始は個別通知
・20～29歳 (2.3万人)	7月27日	予約開始は個別通知
・12～19歳 (1.7万人)	7月28日	予約開始は個別通知

これから約15万人の方に接種券が配布されます。すでに配布され接種が開始になっている65歳以上の方が6.6万人ですので、これから倍以上の方に接種しなければなりません。どこの自治体も同じような状況だと思います。そこで少しでも自治体の負担を減らすために職域や大学での接種が始まったのではと思います。

しかし、優先摂取されるはずの高齢者施設や医療従事者の接種が完全に終わっていないのも事実です。職域や大学に接種するワクチンがあるなら、それをまずは優先接種者に回すことはできないのでしょうか。また、高齢者施設従事者には訪問介護やデイサービス、居宅介護支援事業所といった在宅の方を対象とする事業所の職員は含まれません。どうしてかと聞くと在宅では集団感染が起こらないからだそうです。この線引きに多くの在宅系の職員が不安と怒りを訴えています。繰り返しますが、職域や大学で接種するワクチンを在宅系の職員に回していただきたい。

在宅系の職員に限らず、生活を維持していくために必要なエッセンシャルワーカーの線引きを、これを機にもう一度きちんとしておく必要があるのではないのでしょうか。

5～6月の行事

特養では、ユニット毎に誕生日会を開きお祝いしました。また、お茶会や調理レク、音楽に合わせて体操レクを行ったユニットもありました。

デイでは、サイコロゲームをしたり、瓶に砂や金魚の絵を描いたプラスチックの中に入れて涼し気な金魚鉢を工作しました。また、丸山公園へ菖蒲を見にドライブしました。

6～7月の予定

7/7(水)は、七夕ランチメニューとして「色の付いた七夕そうめん・星の形のミートコロッケ・フレンチサラダ・フルーツ」を召し上がって頂きます。



特養では、七夕レクをユニット毎に考えています。

デイでは、七夕飾りや短冊作り、水彩画を行います。また、色々なゲームを計画しています。





デイ 菖蒲ツアー



デイ 公園散歩



特養 誕生日会



デイ 金魚鉢作り



特養 体操レク



特養 お茶会



デイ サイコロゲーム

